

1. 実務経験のある教員による授業科目	該当	非該当
自動車整備士として、自動車の電子制御系の整備経験がある教員により電子制御方法、点検方法等を指導する。		

1. 電子制御の理解（噴射量制御と点火時期制御、アイドル回転数制御、フェイルセーフ機能、インジェクタ駆動回路の故障診断）
2. 各種センサーの電源、信号電圧測定、点検部位に対し、配線図から必要な回路を抜き出して点検箇所にテストが当てられる
3. コンサルトⅢの接続、立ち上げ、自己診断、データモニタ表示を行う
4. 実際に一般道を走行している車両の整備全般ならびに法定点検の実施

1. ECCSシステムの理解（噴射量制御と点火時期制御、アイドル回転数制御、フェイルセーフ機能）
各種センサーの電源、信号電圧測定
2. 点検部位に対し、配線図から測定場所を特定でき、テストが当てられる。
配線図からシステムを理解し、必要な回路を抜き出して点検箇所にテストが当てられる。
3. コンサルトⅢの接続、立ち上げ、自己診断、データモニタ表示を行なえる。
4. コンサルトⅢを使用しての自己診断実施後、不具合系統名の回路点検が出来る
5. 一般道を走行している車両の整備をすることで、実践経験を積む。

実習試験を100点満点で評価（実技試験筆記試験70点、レポート点15点、行動評価15点）
 一級自動車工学科は70点以上で合格とする。
 自動車整備科は60点以上で合格とする。
 自動車整備・ボディリペア科は60点以上で合格とする。
 自動車整備・カスタマイズ科は60点以上で合格とする。
 国際自動車整備科は60点以上で合格とする。

日産 2 級エンジン、日産 3 級エンジン、2 級 2 輪自動車の教科書を事前に読み予習を行う。

2024年度 授業計画

■：対面授業

自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科

2024年度 授業計画

時 期	2 年C巡	単 元	実 習	教科名	エンジン電子制御3
-----	-------	-----	-----	-----	-----------

7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	エンジン始動	車両に乗り込み、「エンジンかけます！」の声掛けを行う 車両の窓ガラスは全開し、マイク放送が聞こえるようにする		
2	配線点検	導通点検時にはキーOFFの徹底 コネクターを外す場合、配線を持たないように指導		
3	車両取扱い	運転席のみの乗車とする		
4	測定時	やけどに注意		
5	完成検査	教員による完成検査の実施を必ず行う		

8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場	座学教室